

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。

問 政策推進課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

1 歴史の講座はじまる！

～宇陀松山まち協～

9月29日、宇陀松山会館で第1回目の講座を行いました。

今回のテーマは、「万葉集探索」として、県立万葉文化館の井上さやか氏を講師に招いて行いました。市内には、その地域を詠んだ万葉歌のゆ



▲講師の井上先生

2 菟田野で農業体験

～菟田野まち協～

当まち協では、地域の資源を生かした体験を行うことによって、感動



▲緊張した試乗会

を味わっていただく3つの事業を毎年行っています。

まず、地域内の小学校5年生を対象に田植えと稲刈り体験。今年は、5月14日に田植え、10月11日に自ら植えた稲の刈り取り体験を実施しました。自分たちが植えた苗が大きくなったことに感動し、鎌を手にとっての稲刈り作業。「お米を大切に食べたい！」と、一粒のお米のありがたさを実感した体験となりました。

次に、こども園児を対象にした芋掘り体験です。今年は、暑い夏を乗り切るために、スタッフが草刈り、水やりなど例年以上に手塩にかけて育てたサツマイモ。残念ながら雨で今年の芋掘りは、中止となりました。



▲落花生の収穫

したが、毎年、いつ植えて、どこに芋ができるのかなどを勉強し、収穫を体験しています。

最後は、市内外の方を対象にした「稲刈り&収穫体験」です。今年は、第8回目となり、10月5日に18組48人に参加いただきました。まず、サツマイモ、落花生の収穫。「落花生ってこんな風に実るの」、「顔より大きなお芋が収穫できた！」など、色んな声が聞こえてきました。続いて、鎌を持って稲刈りの体験です。刈り取った稲を束ねるサンバイコ(紐)づくりにもチャレンジ。これは難しく、なかなか上手にいきません。その後、子どもはコンバインにも試乗し、農作業を満喫することができた

ようです。

参加された方からは、「いつも食べているものがどうやって収穫されているか体験できて良かった」、「緑いっぱい、菟田野にとっても良い印象を持ちました」などの感想をいただきました。

お土産のお米と自分たちで掘った農作物を手に、「来年もまた来ます！」と笑顔で帰宅の途にきました。

3 敬老会の開催

～室生地域まち協～

9月16日、室生地域で長寿を祝う「敬老の日」の事業を実施しました。



▲向測会場

式典や催し、また記念品を各戸へお届けするなど各地域様々な形でおいをしています。

式典と催しは三本松地区と向測地区が実施。三本松地区では、招待者157人の約半数にあたる83人が参加され、マジックショーやカラオケなど催しが盛りだくさんでにぎやかでした。

向測地区でも招待者95人の約半数42人の方々がやまびこホールに集まり、「健康トークショー」と題して、地域ボランティアをされている方と「頭と体の体操」を行い、会場全体で楽しい時間を過ごされました。

高齢になっても住み慣れた地域で元気に暮らせるように、各地域では日々協力し考えながら事業を実施しています。



▲三本松会場

～ヤドリギ～

エノキやコナラ、クリ、サクラなどの樹上に生育する低木で、枝はよく分岐し、全体として球形に繁茂します。早春に枝端に花を咲かせ、後に球形の果実を付けます。果実は半透明の粘質の液果で、甘くて美味しいので小鳥がよく食べます。その小鳥がほかの木の上でふんをしたら、ふんの中に交じった種子が木に付着し、そこに生えるという繁殖の仕方をします。

生薬名は「柳寄生」。年中いつ採集してもよいので、採集したら乾燥して薬用に供します。全草を煎じて服用すれば、強壮、利尿剤となり、また腰痛、神経痛、解熱、産婦人病に効果があります。実をつぶさないようにしっかりと洗い、水気を切り、ホワイトリカーに漬けて、お酒にしておいしさを楽しめます。3～4か月ぐらいで飲めるようになります。



※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道通(やくそうしょうよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

問 商工産業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075